Central Weekly Market Report

2026/11/20
セントラル短資株式会社　総合企画部

今週（11月16日から11月20日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが堅調で、横ばい推移での出合が続くこととなった。加重平均レートは、試し取りが多くみられたことで1.227%から上振れる日も多くみられている。

ターム物に関しては、1W～1M程度で1.30～1.35%程度、2Mで1.50～1.55%程度、3Mで1.60～1.65%程度での引き合いが散見された。期末越え物についてはレート水準が徐々に切り上がってきている。

日銀当座預金残高は、週初414兆円から始まり財政等要因を主因に減少推移し、本日は411兆円程度での着地が予想される。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、1.255%前後で推移した。
SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが軟調、3Mゾーンが堅調に推移した。
18日に実施された1Y物入札では予想対比でやや甘い結果となり、結果発表後のセカンダリーでは小甘く推移した。
20日に実施された3M物入札では強めな結果となり、結果発表後のセカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

小売業、卸売業、食料品、鉄鋼、化学、電力・ガス、石油など、複数の業態で大型発行が行われた。
市場残高は、26兆円台半ばまで増加し、先週末から1兆円程度拡大した。
発行レートは、1.25%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価（円）	新発10年国債利回り（%）	為替（ドル/円 中心相場）	無担保コールO/N（加重平均・%）	東京レポレート（T+1 ON・%）	日銀当座預金残高（億円）
11/16 (月)	59,662.02	2.884	159.85	1.228	1.250	4,140,300
11/17 (火)	58,860.43	2.880	159.10	1.227	1.250	4,133,800
11/18 (水)	59,024.28	2.870	159.59	1.227	1.250	4,112,400
11/19 (木)	59,444.21	2.820	159.59	1.228	1.250	4,096,000
11/20 (金)	56,436.65	2.784	159.47	1.228	1.250	4,101,600

翌週（11月23日から11月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー　（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/23 (月)	*勤労感謝の日				
11/24 (火)	*10月のFSBレポ統計(日銀 8:50) *9月のサービス産業動態速報(総務省 8:30)				
11/25 (水)	*10月の消費者物価のコア指標(日銀 14:00) *10月の企業向けサービス(日銀 8:50) *9月の貸出約定平均金利(日銀 8:50)		40Y物 11/26発行 3,000億円	交付税借入 12/3借入 12,000億円	*10月の米個人消費・所得支出(PCE) *10月の米新築住宅販売件数
11/26 (木)	*田村審議委員挨拶(山梨懇談会 10:00)				*New York祝日(Thanksgiving Day)
11/27 (金)	*10月の有効求人倍率(厚労省 8:30) *10月の完全失業率(総務省 8:30) *11月の都区部消費者物価指数(総務省 8:30)	TDB3M物 11/30発行 31,000億円	流動性供給 11/30発行 5,000億円		*New York市場短縮取引

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/23 (月) 日銀予想	▲ 600	5,300	4,700	国債補完供給	200		200	4,900	
11/24 (火) 弊社予想	200	▲ 3,000	▲ 2,800					▲ 2,800	TDB3M発行▲31,000 償還37,000 流動性供給発行▲7,000
11/25 (水) 弊社予想	▲ 200	2,000	1,800	全店共通(変)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 6,200	国有林野借入▲651 償還830
11/26 (木) 弊社予想	300	▲ 9,000	▲ 8,700					▲ 8,700	40Y発行▲3,000 交付税特会借入▲12,000 償還11,000
11/27 (金) 弊社予想	▲ 400	▲ 8,000	▲ 8,400					▲ 8,400	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き1.227%近辺での出合いが中心になると見込まれる。債券レポ GC T/N物は、1.24～1.26%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、27日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、26日(木)に月末発行集中日が予定されており、動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では24日(火)に10月のFSBレポ統計、9月のサービス産業動態速報、25日(水)に10月の消費者物価のコア指標、10月の企業向けサービス、9月の貸出約定平均金利、26日(木)に田村審議委員挨拶(山梨懇談会)、27日(金)に10月の完全失業率・有効求人倍率、11月の都区部消費者物価指数などが公表予定である。海外では25日(水)に10月の米個人消費・所得支出(PCE)、10月の米新築住宅販売件数、26日(木)にNew York祝日(Thanksgiving Day)などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社　登録金融機関関東財務局長（登金）第526号　日本証券業協会加入